

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

近光 章
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511
振替口座01380-2-27511
URL http://www.kanhokyo.or.jp/

第54回広島県公衆衛生大会

~活力あるコミュニティの実現をめざして~

41人・8団体の功績を称え表彰



第54回広島県公衆衛生大会「健やかな暮らしをつくる人々の集い」が、11月20日にはついで文化ホールさくらびあ大ホール(廿日市市)で開催され、県内各地から公衆衛生推進委員や行政事務担当者など、約700人が参集した。この大会は、公衆衛生の向上に日々努力する個人や団体を称え、知識や

次に、地区衛生組織代表者会議の宮本英暉議長による大会宣言文が読み上げられ、「第2次健康ひろしま21」をはじめとしたライフスタイルの見直しによる健康づくりと、それらを支える環境づくりへの取り組みの重要性を宣言し、会場の大らかな拍手によって採択された。(宣言文は下記のとおり)大会宣言に掲げる6つの項目は、向こう1年間の公衛協活動の柱となる。

最後に、開催地である廿日市市公衆衛生推進協議会の今津俊昭会長が閉会のあいさつを行い、締めくくった。(地域活動支援センター)

体験を交流しあい、真に健康な県民生活の実現に寄与することをねらいに開催している。式典では、県知事、県医師会長及び環境協理理事長より公衆衛生活動において多大な成果をあげた41人・8団体の功績を称え、表彰状が授与された。

「2面参照」や「万人の工コチエック事業おたのしみ抽選会」を実施。アトラクションとして廿日市市が発祥と言われているけん玉を使ったパフォーマンスを披露してもらい、10人の参加者にけん玉の技を体験してもらった。会場は笑顔と歓声に包まれた。

大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた歴史の中で、あらゆる主体と協働しつつ、自主的・組織的な実践活動をおととして、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。しかし、地球温暖化やごみ問題、生活習慣病の蔓延など、深刻かつ緊急を要する課題は後を絶ちません。

今年3月に策定された「第2次 健康ひろしま21」では、生活習慣病の発症予防と重症化予防、健康寿命の延伸など、一人一人のライフスタイルの見直しによる健康づくりと、それらを支える快適な環境づくりが求められています。

私たちは地域の課題に積極的に対処しながら、人々がより快適で健やかに暮らす活力あるコミュニティの実現をめざし、これまでも増して地域リーダーとしての機能を発揮していく必要があります。

そこで、「健やかな暮らしをつくる人々の集い」をテーマに開催するこの大会を契機に、次の6つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けて邁進することを宣言します。

- 生活習慣の見なおしと実践活動による健康づくりの推進
- 生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
- あらゆる主体の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
- 学社融合による環境と健康の実践活動の推進
- ごみ減量に向けた3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進
- 上記の5つの項目を実現するためのコミュニティ組織の強化

平成25年11月20日 第54回広島県公衆衛生大会

表彰者一覧

各大会などで表彰された団体及び個人は次のとおり。(敬称略)



- 【原知事表彰】
- 公衆衛生地区組織活動功勞(団体)・尾道市環境指導員協議会(尾道市)
 - 公衆衛生地区組織活動功勞(個人)・橋本哲夫・寺田博信(花本雅基・鈴木裕(以上広島市)、西中重則(竹原市)、青山康人・毛利美昭(以上尾道市)、森田強三(福山市))
 - 健康増進栄養関係功勞(個人)・源田美佐子(尾道市)
 - 母子保健活動功勞(個人)・河野由利・天野孝子(以上広島市)
 - 歯科保健活動功勞(個人)・歌野原実・行武治子(以上広島市)
- 【広島県医師会長表彰】
- 保健衛生活動優良地区・天女浜区(尾道市)
- 【広島県環境保健協会表彰】
- 地区衛生組織活動功勞者・沖中進(府中町)、伊藤智恵美(海田町)、重田眞澄(大石君枝(以上江田島市)、井上美津子(竹原市)、宮本輝子(大竹市)、島津頼子(廿日市市)、大野宣江(廿日市市佐伯)、小田邦生、田島博之(以上安芸太田町)、石津ノブエ(北広島町)、日山文子(東広島市)、重森勉(世羅町)、須田修・植上和之・齋田富会(廿日市市)
 - 地区衛生組織活動優良団体・世羅町公衆衛生西大田地区推進協議会(世羅町)、海老区民会・西富浜地区自治会(以上尾道市)、朝日町自治会・警固屋第3区自治会(以上呉市)
 - 地区衛生組織活動成功功勞者・廣瀬俊明(海田町)
 - 環境と健康の「コミュニティ大賞」ふるさと宮園ヒートアップの会(廿日市市)

新年を迎えて



理事長 近光 章

新年、おめでとうございます。公衆衛生推進委員の皆様をはじめ、健康と環境の課題に取り組んでいただいている皆様には、平素から地域に根付いた地道な活動を通じて県民の健康づくりと環境の保全にご尽力いただき、誠にありがとうございます。広島県は、昨年、第2次の健康づくり計画を策定いたしました。その中で、健康寿命の延伸を目標とし、広範囲な施策を展開するとしております。明治維新、我が国に初めて「公衆衛生」の概念を打ち出した長興乗継は、どのような立派な法律を作っても国民が健康に対する関心、自分自身を律する心を持たなければ、長寿を全うする

新年、おめでとうございます。公衆衛生推進委員の皆様をはじめ、健康と環境の課題に取り組んでいただいている皆様には、平素から地域に根付いた地道な活動を通じて県民の健康づくりと環境の保全にご尽力いただき、誠にありがとうございます。広島県は、昨年、第2次の健康づくり計画を策定いたしました。その中で、健康寿命の延伸を目標とし、広範囲な施策を展開するとしております。明治維新、我が国に初めて「公衆衛生」の概念を打ち出した長興乗継は、どのような立派な法律を作っても国民が健康に対する関心、自分自身を律する心を持たなければ、長寿を全うする

ここではできないと述べております。生活習慣病の原因となる食生活、嗜好、運動などは自分自身の身体管理の問題であり、生活を取り巻く環境問題や地球温暖化問題などについても県民一人ひとりの自覚の問題であると思っております。県内の公衛協活動は、全国的に見ても希有な活動です。半世紀以上にわたり、時代時代の公衆衛生ニーズを捉えて「コミュニティの健康と環境問題に住民自身が取り組む」こうした活動は、これからの人口減少社会にとりましても社会資産として極めて重要なものになると確信しております。環境協は、公衛協支援を通じて「コミュニティの健康づくりと環境保全」に貢献することを目的にしている団体です。厳しい経営環境にありますが、この目的達成のために職員一人一人が頑張りたいと存じます。新年を迎えるにあたり、協会運営に皆様のご支援とご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご発展とご健康をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表]
FAX:082(293)1520

かんほきょう 検索





11月20日に開催された第54回広島県公衆衛生大会にて行われた「環境啓発ポスター! 標語コンクール優秀作品表彰式」の様子を報告する。

ポスター! 標語の表彰式行われる
12人の児童・生徒の表彰
華々しく

11月20日に開催された第54回広島県公衆衛生大会にて行われた「環境啓発ポスター! 標語コンクール優秀作品表彰式」の様子を報告する。

ロフイーが手渡されると、緊張はほぐれ、笑みが浮かんだ。

森嶋彰選考委員長が、「今年度からテーマを変えて募集したところ、昨年度を超える多くの作品が寄せられた。どの作品も感性豊かで、すばらしいものだった。今後もこの事業のますますの繁栄に期待している」と講評を述べた。

表彰式終了後の控室では、受賞者はトロフィーを手に取り、保護者とともに喜びをかみしめていた。受賞者にインタビューを行ったところ、「とてもうれしいです」、「来年もぜひ参加したいです」といった喜びの声が聞かれた。この事業は、年を重ねるごとに応募作品も多様化し、デザインやキャッチコピーのレベルが上がって質の高い作品が多くなっている。



賞状・トロフィーを受け取る受賞者(上・中)、講評する森嶋選考委員長



講評する森嶋選考委員長

第54回広島県公衆衛生大会講演

若さと健康をつくるウォーキングで地域活性!
たくさん歩いて、筋力の維持を

今年は「健康」をキーワードとし、公衛協で取り組みが広がっているウォーキング事業の更なる拡充をねらい、歩行研究者・京都大学非常勤講師・医学博士の岡本香代子先生にご講演いただいた。

ステージで、歩行パターンや筋肉を効果的に動かすストレッチを実演し、会場の参加者も一緒に体を動かすなど、健康づくりに視点を置いた歩き方を教わった。終始、参加型で展開され、会場からは、笑いや、なるほどと声が上ががり、大盛況のうちに終了した。講演趣旨は次のとおりである。



歩行研究者
京都大学非常勤講師
医学博士
岡本香代子 先生

生涯、自分の足で元気に歩き続けられる方法が研究され、私たちが日常、意識せずにできるだけ疲れないよう、筋肉を使わない省エネ歩行をしていくことが分かった。筋肉は使わなければ衰え、カロリーは消費されず、血糖値が上がる。次第に、猫背、ひざ曲がり、すり足歩行がはじまり、最終的に自力歩行が困難になる。



歩くことで、歩道の段差や地域の変化など、日常の動きを運動に変えるポイントが、①かかとから着地(すねの筋肉を使う)②大腿早歩き③正しい歩行姿勢である。歩行姿勢と使った筋肉のメンテナンス方法について、聞いている方に体験してもらった。

「一万人のエコチェック事業」

「見える化」取り組み4年目を迎える
推進委員への啓発と水平展開が課題

「一万人のエコチェック事業」は、各家庭で省エネに取り組み、電気等の使用量を前年同月分と比較して、その効果を数値として把握=「見える化」する事業である。当面、公衆衛生推進委員への普及啓発を目標とし、最終的には県民運動として展開し、県全体で二酸化炭素の排出抑制、環境問題に取り組む生活習慣の確立を目的としている。4年目を迎えたこの事業、今年度は25市町公衛協が参加した。

今年の実践率は33.6%で、県大会当日に会場であるつかいち文化ホールさくらびあには3,131枚のカードが集まった。目標とする実践率50%には及ばなかったが、昨年に比べ6.3%向上した。実践率向上の背景には、推進委員への声かけや郵便を利用した回収方法の工夫などが挙げられる。

今年は昨年に比べ気温が高く、省エネの努力がみえにくいと予想していた。しかし、結果は一世帯あたり平均約18KWhの削減となり、成果が数値に現れた。

東日本大震災以降、節電に対する意識や行動は大きく変化し、「エアコンの温度は28℃に設定」

「電気をこまめに消す」の省エネ対策が多い中、今年は「グリーンカーテンをした」「車をやめ、自転車や徒歩にした」など、楽しみながら省エネを実践する人が着実に増えていた。

公衛協によっては独自に「環境家計簿事業」に取り組んでいるところや、対象範囲を広げてはどうかという意見もあり、一般住民への水平展開の必要性とその手法について、地区衛生組織代表者会議などで検討を進めているところである。

来年度もこの事業は継続する予定である。省エネは、これからの地球環境を考えると避けては通れない課題であり、引き続き、皆さまのご協力をお願いする。

(地域活動支援センター)

●1万人のエコチェック事業実践率一覧●

(広島県公衆衛生大会回収時点)

Table with 4 columns: No., 公衛協名, 全委員数, 実践者数, 実践率. Lists 26 municipalities and their participation rates.

【全推進委員数】9,326人 【電気】1世帯あたりの電気使用量 約523kWh
【実践者数】3,131人【実践率】33.6% 平均増減量 → 約18kWh削減



緑のカーテンコンテストコーナーで優秀作品を選ぶ来場者

脱・温暖化フェア in ひろしま 2013開催

さまざまな主体が「わ」になり発信

よら広く、よら多くの市民へ

11月22、23日、広島県立産業会館西展示館において、今すぐecoじゃけん広島〜熱い気持ちで、地球をクールダウン〜をテーマに『脱温暖化フェア in ひろしま2013』が開催された。これは、脱温暖化センターひろしま環境省中国四国地方環境事務所広島事務所経済産業省中国経済産業局広島県ひろしま地球環境フォーラムが実行委員会を作った開催したもので、国・県・市・企業・市民が環(わ)をつくり、一般市民に温暖化問題を知ってもらうとともに広く普及啓発しようとする。今年で4回となる。また、啓発活動のすそ野を広げるため「建築技術フォーラム」及び「エコインベシヨ



ンメッセージひろしま」も同時開催され、講演会やセミナー、企業団体等によるブース出展があり、2日間で7900人が来場した。会場では、県内各地で展開される脱温暖化活動を知らう〜をテーマに、当センターや、国、県の活動紹介のほか、県内20のTEAM(地球温暖化対策地域協議会)が、活動の内容をまとめたパネルや、日頃の活動で使用している自慢のグッズ、オリジナル教材等を展示。23日には、島根県の地球温暖化防止活動推進員や、みほらし環境会議のメンバーによる団体視察もあり、活動への熱い思いやさまざまな意見が飛び交うなど、大いに盛り上がった。



また、「省エネ診断コーナー」を設け、5人の診断員が20人を診断した。アンケートで、受診者が日ごろ取り組んでいる省エネ対策やエネルギー使用状況等を把握し、診断員が効果的な省エネを提案。受診者からは「帰って家族と相談し、できることから省エネに挑戦していきたい」と意気込みの声も聞かれた。



省エネ診断を受ける来場者(上)、エネルギーの無駄追放プロジェクトの展示(中)、キッチン改革プロジェクトの展示(下)

さらに、今年、TEAMや自治体を実施した「緑のカーテン」コンテストの優秀作品の写真およびコメントを展示し、広島県のベスト・オブ・カーテンを選ぶコーナーを設置。10市町から41点が集まり、緑のカーテンの広がりやPRするとともに、来場者には、涼しそうだと感じた作品に投票してもらった。「見ているだけで涼しく感じる」「来年は、我が家でも挑戦してみたい」といった声がかかるなど、関心を高めた。

そのほか、会場内の3つのイベント全てを巡りながら、10団体が出題するクイズに挑戦する「会場周遊クイズラリー」を実施。挑戦者には、省エネやごみの減量などを意識づける粗品が手渡され、更なる取り組みの普及を図った。

また、今年度、環境省の補助金を活用して取り組んでいるTEAM連携事業の中間報告も行った。

また、今年度、環境省の補助金を活用して取り組んでいるTEAM連携事業の中間報告も行った。

また、今年度、環境省の補助金を活用して取り組んでいるTEAM連携事業の中間報告も行った。

また、今年度、環境省の補助金を活用して取り組んでいるTEAM連携事業の中間報告も行った。

また、今年度、環境省の補助金を活用して取り組んでいるTEAM連携事業の中間報告も行った。

環境と健康の学習ルーム
お勧め
グッズ紹介
① 環境学習DVD

環境問題を扱ったDVDの「見直そう わたしたちの暮らし 地球温暖化防止に向けた取組、始まっています」(環境省・平成23年度)は、初心者向けの内容で貸し出しリクエストも多い。小中学校の環境授業の教材や企業研修のほか、地域のお祭りでも上映されている。

地球温暖化防止問題についてもっと知ろう

さかなクンと一緒に楽しく環境学習!

人気の秘密は、なんといってもさかなクンによる解説にある。さかなクンは、言わずと知れた男性タレントで、魚類研究家であり、東京海洋大学客員准教授の肩書きも持っている。

DVDは3部構成で、第1部の「地球温暖化が進むと日本にどんな影響が?」では序盤からさかなクンが登場し、「温暖化について考えたことがあるか?」と地球温暖化の影響が日々迫っていることを訴える。そして、温暖化が日本に及ぼす影響をクイズ形式で出題し、身近に起こりうる影響について解説している。第2部「エネルギーを上手に利用して、快適に地球温暖化防止」では、ある家庭のコミカルなドラマを通して、二酸化炭素削減と省エネ対策を紹介している。シャワーの時間を1日1分減らす、車での移動を自転車に変えるなど、日常生活で誰でもできる行動である。ここでも、随所でさかなクンがわかりやすく解説している。



DVDのクイズを出題している様子

再生時間は37分。最後まで関心を持って視聴でき、環境問題もさかなクン独特の口調による解説で、笑いも交えながら楽しく学習できる。興味を持った方は、ぜひ環境学習の教材としてご利用いただきたい。(地域活動支援センター)

ジャンル:環境学習DVD
タイトル:「見直そう わたしたちの暮らし 地球温暖化防止に向けた取組、始まっています」
活用例:小学校・中学校の授業、学習会やイベント、企業研修で使用
対象年齢:小学校高学年~
企画・製作:環境省(チャレンジ25キャンペーン)
内容:第1部 地球温暖化が進むと日本にどんな影響が?(12分55秒)
第2部 エネルギーを上手に利用して、快適に地球温暖化防止(8分39秒)
第3部 事例紹介(15分35秒)



海プログラムの安全対策

相談しながらつくる安心・安全

想定と準備でリスクを減らす

時期、海プログラムはオフシーズンとなりません。この機会に、参加者の呼びかけや準備物、スタッフの役割分担について振り返ってみましょう。

まず、自然を相手にプログラムを実施するので、事故やけがをなくすという事は不可能です。しかし、主催者側が不測の事態をどう想定し、準備するかという事で、大事故・大けがのリスクを減らしていく事はできます。

最も身近な事例では、参加者に案内する服装や持参物、実施中止の判断でしょう。日焼けや熱中症対策として、長袖、帽子の着用、水分の持参、けが対策として運動靴や手袋の着用を案内できていますか？おそろかになりがちなのは、足元です。磯岩場が危険なのは当然として、砂浜にも、貝殻・金属片、ガラス片など鋭利なものが落ちて

気温が零度を下回ることも少なくないこの

います。イベントの際は、素肌を露出するサンダルを避け、ぬれても良い運動靴や長靴の持参をお勧めします。

また、実際にけがや事故が起きた際の対処手順を、スタッフで共有しておくことも大切です。例えば、近隣の病院は開業しているのか、誰が応急救護をするか、救急搬送の基準はどうするかなどです。熱中症や、岩場で転倒した事による裂傷などは容易に想定できる事象です。保護者の連絡先把握も重要なポイントです。連絡が付かず、必要な医療が受けられない、処置が遅れるなどのケースがありますので、必ず確認しておきましょう。

場所や規模、対象の年齢によって、準備項目は変わりますが、筆者自身、主催者のひとりとして気をつけている項目を挙げています。これに、地域性を加味し

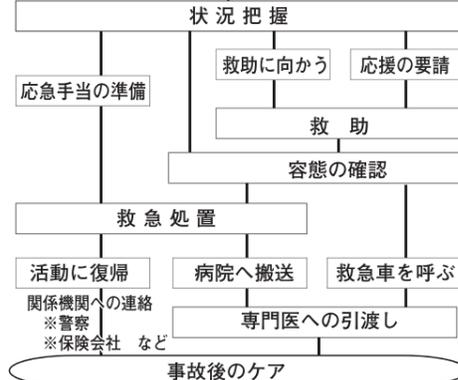
て、仲間や関係団体と相談しながら安心安全の確保につなげてください。緊急時の動きをイメージしながら、フローチャートにまとめる会議をスタッフで実施すると、より効果が高まります。

(地域活動支援センター 馬場 真二)

●事故対応フローチャート例

○△□クラブ 事故対応フローチャート

※まず冷静になる
※自分の安全確保
※残りの者の安全確保



◇関係緊急連絡先◇
 ○× クリニック 0000-0000 ○× 消防署 0000-0000
 ○× 小学校 0000-0000 ○× 救護担当者 (○×) 0000-0000

●イベント実施時の確認点例

- ◇スタッフの事前打ち合わせ (役割分担、準備物確認・案内、中止の判断)
- ◇素肌を露出させない着衣の推奨(日焼け・けが対策)
- ◇病院の確認または、海上保安庁・消防に事前連絡
- ◇子ども対象の場合は、保護者への連絡手段の確認
- ◇現場の下見
- ◇イベント保険の加入



⑨ 年賀状の周辺

そろそろ年賀状の準備をはじめねばならぬ時期になると、毎年この頃から、少々うんざりする。来て嬉し来ねば淋しい年賀状ののだが、「こんなもの、やめてしまえばいいのに」と呟きながらいららしていい。誰でも経験することではなからうか。

『大歳時記』によれば、江戸時代にも初便り

の作(蓬萊)は「うら」に聞(き)かばや伊勢の初便り。芭蕉があるものの、今日のように年賀状を出す風習はなかったらしい。年賀状は、本来1月2日の書初めの日に書くべきものであったから、新年になつて祝意を述べるのが当然である。そもそも、新年を迎えれば、父母やお世話になつた人たちに挨拶に出向くのが本筋だ。それが遠くへいけな

うなことが起きるのである。一方、年末になると「喪中につき賀状欠札」の通知がくるが、あれは「喪中」というのは、喪に服すことであつて、その期間は本人が決めること。そんな私事で年賀と

だが、いつの間にか元旦に相手に届くよう年賀状を出す慣習が確立された。だから12月のうちに発送せねばならない。そこで、死者からの年賀状が届くよ

「喪中につき賀状欠札」の通知がくるが、あれは「喪中」というのは、喪に服すことであつて、その期間は本人が決めること。そんな私事で年賀と

賀状うつつたかしかのひとよりは来ず 桂 信子 (太陽俳句会主宰 務中 昌己著 「俳句セラピー」北溟社抜粋)

安心安全 MEMO

当協会は、中国新聞社が展開している『ちゅーピーメルマガ』のデイルーメールを通じて、安心・安全につながる情報を提供してきました。『安心・安全MEMO』では、これまでに配信した情報の中からいくつかをまとめてご紹介します。くらしの中の豆知識として、お役立てください。

◆健康診断
健康診断には、法令で定められたものと任意で受診するものがあります。働いている人の健康診断は、事業主によって年一回の実施が法律で義務づけられています。任意の場合は、人間ドックを受診する方法があります。また、40歳以上の方には、行政などが特定健診やがん検診の受診を勧めています。健康診断は、生活習慣病や早期のがん発見などにつながるもので、年に1度は受診しましょう。

◆冬の省エネ
家庭では平日の場合、夕方以降に電気が多く使われているので、この時間帯での節電に気を配りましょう。

◆肝機能
肝臓病を引き起こす原因の一つは、生活習慣の乱れです。お酒の飲み過ぎや食べ過ぎで肝臓に脂肪がたまり、脂肪肝という状態になり、肝機能の低下を招きます。さらに、暴飲暴食を続けると、脂肪肝が慢性肝炎に。さらには肝硬変、肝がんへと移行する恐れがあります。ウイルスも原因の一つとして知っておいてください。B型肝炎やC型肝炎はウイルスの感染により発症します。肝硬変や肝がんに移行する可能性が高いので、感染を調べる肝炎ウイルス抗体などの検査をおすすめします。

「のシリーズおわり」



おいでよ、見てよ、マナーンでよ

『もったいないね』を合言葉に地球環境を守る

11月16日、廿日市市浅原の佐伯クリーンセンターにおいて、廿日市市佐伯公衛協主催の「佐伯リサイクルまつり」が開催された。まつりの来場者は、約450人であった。

まつりは、平成12年度から毎年行われており、14回目を迎える。会場には、古本・マンガ本などのリサイクル品展示即売や、自転車

家具展示即売、新鮮な季節野菜、植木、花の地元物産店などのブースが設置された。また、クリーンセンターのごみ焼却施設も見学できるように開放された。廿日市市佐伯公衛協のブースでは、EMぼかし団子、発酵液の無料配布を行い、来場者は興味深そうに手に取り持ち帰っていた。また、その横には、ごみ分別指導のブースを設け、パネルを用いてごみ分別の必要性などをPRした。

同公衛協会長の森本みさえさんは、「今年度は、例年と比べ来場者が少なかつたようだが、天気にも恵まれ、また、来場していただいた地域の方には、少しずつ環境問題に対する意識を高めてもらえた実感している。今後も、環境問題について、より多

くの人に關心を持ってもらえるよう、努力していきたい。」と、まつりの感想を語った。

はじめに、「環境啓発ポスター」標語コンクール」の表彰式が行われた。廿日市市佐伯地域の4小学校から応募のあったポスター332点、標語75点の中から優秀作品が選考され、17人が表彰された。受賞者は、賞状が手渡されると、笑みを浮かべ喜んでいった。また、応募作品が会場内に展示され、来場者を楽しませた。

賞状を受け取り、喜び子どもたち(上)、EMぼかし団子が並べられた公衛協ブース(下)



走り続ける 認証施設



県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施中。適合した施設は、商品に「認証マーク」を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

④ やま磯



認証日:平成19年5月10日
所在地:広島市安芸区矢野新町2-3-12
創業:昭和24年
話し手:常務取締役 磯部 日出夫氏(中)
製造部工場長 吉田 浩二氏(左)
※右は環保協職員

「業務内容 海苔ふりかけ」さるかに合戦」や、味付海苔、焼海苔の製造・販売を行っています。

■**認証取得の効果**
弊社では、社員全員が同じ意識のもと、同じ行動を取るよう衛生管理マニュアルを作成し、統一した衛生管理を行う

■**改善策の提案**
当面は、現在の衛生管理マニュアルを活用し実施していきませんが、問題や異常が生じた場合には速やかに対応し、改善します。

■**今後のステップアップ**
衛生管理に「ゴール」はありませんが、従って、弊社の衛生管理マニュアルは、運用のなかで適宜、改善、改良を重ねていく必要があると考えています。

社員の意識向上による不良品減少

お客様に安心・安全・満足を

ています。衛生管理マニュアルに「確実に実行することで、社員の衛生管理に対する意識が目に見える形で分かるようになります。さらに、衛生管理に関する

における廃棄商品や不良品が減少しました。また、社員一人ひとりの衛生管理に対する意識の向上により、品質の向上や作業の効率化が図れるようになりました。

また、日々の作業で発生するトラブルや衛生面での問題は、社員同士で意見を出し合って改善し、より一層の衛生管理安全管理につなげていきたいと考えています。

■**消費者の皆さまへ**
「食べ比べればやっぱりやま磯」をキャッチフレーズに、素材、原材料にこだわり、食べておいしいものをお客様にお届けしたいと考えています。これからもやま磯は、お客様にとって常に安心・安全・満足を届けてまいります。

■**インタビュー: 中川**
記事村上

「検査が難しい、大変」と良くないイメージばかり印象に残る胃腸X線検査ですが、胃がん検診ガイドラインには「現時点で科学的にがん検診の有効性が証明されている検査法は胃腸X線検査のみ」と記載されており、国が推奨する唯一の検査法であることはあまり知られていません。

胃腸X線検査は、胃の内壁にバリウムを均等に附着させて胃粘膜の凹凸と辺縁の形状を撮影しており、胃粘膜は写し絵として間接的に描出されます。近年バリウム製剤の改良、撮影手技の改善、何より受診者の皆さまの体位変換とゲップの我慢というご協力により「早期胃がんは発見できない」から「いかに早期胃がんを発見するか」という時代が変わり、現在では1cmにも満たない大きさの病変も指摘できるようになりました。しかし、病変の指摘は可能でも「直視」していないので「〇〇の疑い」と診断され、「要精密検査」と診断された方は胃内視鏡検査による良性悪性の鑑別が必要



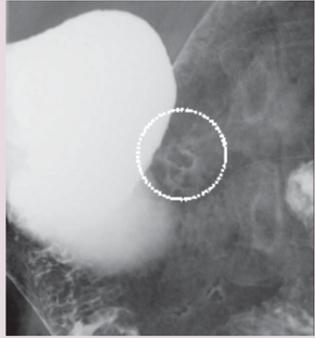
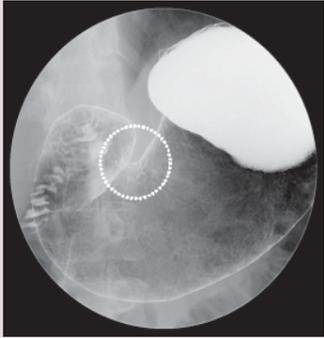
④ 胃がん

になります。最近では、胃腸X線検査の代わりに胃内視鏡検査が人間ドック等で実施されることも増えてきましたが、科学的根拠が不十分という理由で「胃がん検診」としての実施を国は推奨していません。また、血液検査によるペプシノゲン検査、ヘリコバクターピロリ抗体検査については「検診」ではなく「リスク評価」だと位置づけられています。しかし、単独での活用ではなく検査を併用することで、胃がんの更なる早期発見に繋がると考えられます。胃がんに限らず医療技術の進歩により、がんは早期発見早期治療で治療できる病気となりました。そのためにも、定期的な検査を受けることが必要ですので、年に1度は時間にゆとりをもってご自身のお体をチェックしてみたいかがでしょうか。

国が推奨する『胃腸X線検査』

1cm未満の小さな病変も指摘可能

（ドック課 富士田 亮介）



当会の胃腸X線検査で「早期胃がん疑い」と指摘。内視鏡検査の結果、分化型の早期胃がんと診断された一例

公衛協活動研究セミナーin東部④

ウォーキング事業研究を開催
活動事例やノウハウを共有

12月6日、POM府中市こどもの国を会場に、三原市、世羅町、福山市、府中市の推進委員事務局20人が参集し、各市町のウォーキング事業について研究した。



活動事例やノウハウを共有する参加者(上)、実際に屋外にてウォーキングプログラムを体験(下)



府中市公衛連では、「健康」の活動として、保健課、ウォーキングマスター(登録指導者)との共同事業を展開しており、今回は、実際にウォーキングを体験しながら、ノウハウやクイズラリーを体験した。

参加者からは、「企画者自身も楽しいプログラムが重要だ」という意見や、「ウォーキング指導者養成プログラムを開催してほしい」と、支援への要望もいただいた。

これから、当協会が地域の健康づくり、環境づくりの活動を継続、発展していくため、活動事例の共有や支援プログラムの開発などに力を入れていく。

公衆衛生推進手帖 『2014公衆衛生推進手帖』が完成
公衆衛生推進手帖は、公衆衛生活動の必読書。実践の手引書として、毎年12月に環境協が作成し、県内約1万人の公衆衛生推進委員に配布しています。

協会HPリニューアル
新年度に向けて内容を充実

今秋から、協会HP(ホームページ)のリニューアルに取り組んでいる。平成20年度に作成・運用した現在のHPの課題である、より分かりやすい協会事業の紹介や報告、より親しみやすく見やすいデザインへの変更、スマートフォンやタブレットからの利用を考慮するなどの課題を解決するためである。

10月からリニューアルページを公開しており、写真やイラストを使用し、キーワードや目的から利用者が必要な情報を探しやすい工夫を凝らしている。今後、新年度に向けて徐々に内容を充実させていく計画だ。

かんほきょう 検索
http://www.kanhokyo.or.jp/

人間ドック」「フィットネス事業」「飲料水や食品、建材などの調査・分析・コンサルタント」などさまざまな事業を展開している。新しいHPを通じて、コミュニティの輪をひろげ、基本理念を達成すべく今後も邁進していく。



環境啓発ポスター・標語コンクール
応募作品点数(総数)の訂正のお知らせ
次のおとり、標語の応募作品点数(総数)に誤りがありました。訂正して、お詫び申し上げます。

平成25年度
地区衛生組織活動資金募集
通称 『環境・健康募金』
環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成25年度で54回目を迎えました。

Table with 4 columns: 市町名, 募金額(円), 達成率(%). Lists various municipalities and their fundraising results.

Table with 4 columns: 市町名, 募金額(円), 達成率(%). Lists various municipalities and their fundraising results.

Q: 環境協配分金ってどのように使われているの?
A: 環境・健康募金は次のような割合で公衛協と環境協に配分され、公衛協活動に活用されています。
環境協配分金は全県の公衛協に関連する次の事業に充てられます。

市町別一覧表(平成25年11月末現在)
※この表は、平成25年11月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。